

血液検査でがんのリスクをチェック

アミノインデックス® がんリスクスクリーニング

(AICS : Amino Index Cancer Screening)

(アミノインデックス®は味の素(株)の登録商標です。)

この検査は単品検査としてご提供いたしております。
ドック、その他健診との併用でのご利用は取り扱っておりません。
また、この検査には健康保険は適応されません。

皆様の健康づくりをサポートいたします

メディカルなら 奈良市総合医療検査センター

(2019年11月11日～)

～目次～

目次	P2
アミノインデックス®がんスクリーニング (AICS) とは?	P3～4
・AICS の特徴	
・AICS はこんな方におすすめ	
AICS 検査について	P5～6
・リスク評価が可能ながんと検査料金	
・検査の対象者	
・AICS の結果に影響を与える可能性がわかっている疾患	
・AICS 報告ランク別がんリスク(確率)について	
検査前の注意事項	P7
検査予約と検査後のながれ	P8
・検査日まで	
・検査当日	
・検査結果の報告について	
・がん予防のための生活習慣支援	
検査結果の見方	P9
・通常のがん検診とは	
・精密検査の例	
よくある質問	P10
AICS 活用のイメージ	P11

アミノインデックス®がんスクリーニング(以下 AICS)とは？

血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、現在のがんであるリスク(可能性)をスクリーニング(ふるい分け)・評価し、



より早い段階でのがんの発見・予防に活用

- 精密検査の受診
- がん検診の定期受診
- がん予防のための健康づくりのきっかけ

に活用していただくための血液検査です

AICS の特徴

- 一度の採血で、がんの種類や組織型に左右されず、複数のがんを同時に検査できます。
- 早期のがんにも対応した検査です。
- 採血による簡便な検査です。(血液を 5ml 程度採血して検査を行います)

(参考)

- 採血を行った時点の、がんであるリスクを評価する検査です。

生涯に渡ってのリスクを予測するものではありません。

- 症状のない方を対象とした検査です。

あきらかな症状がある場合は、医療機関を受診することをお勧めいたします。

- がんであるリスク(可能性)を評価する検査で、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。(がんを発見するための補助的な検査の一つです)。

「がん」の病名を耳にただけで大変落ち込む方は、検査を受けないでください。

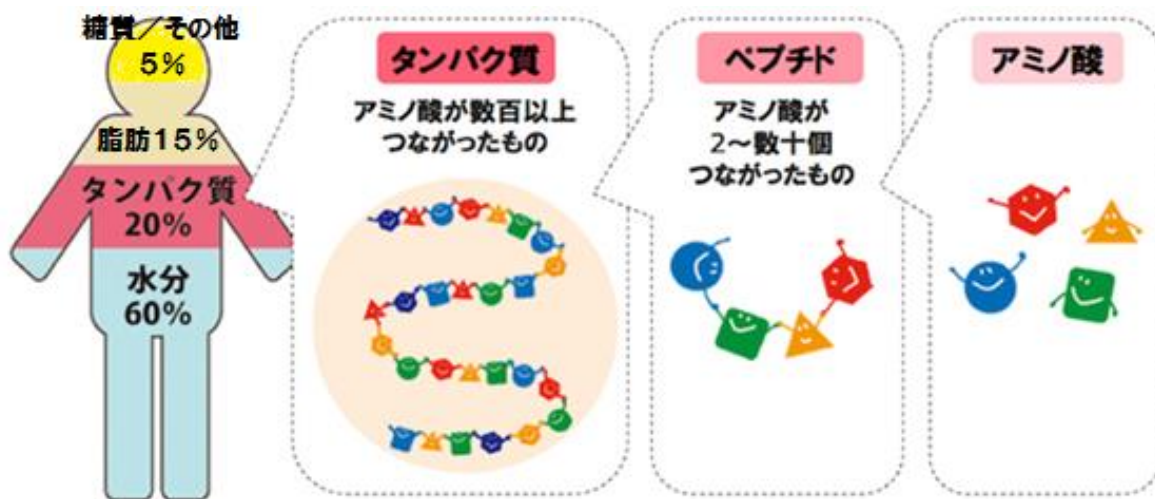
AICS はこんな方におすすめ

- ・ 家族や身内のがんにかかった人がいる
- ・ 今までがん検診を受けたことがない、がん検診を定期的に受けていない
- ・ 漠然とがんの心配がある
- ・ 苦痛と感じる検査を受けるのに抵抗がある
- ・ 複数の部位のがんリスクを一度に短時間で調べたい
- ・ 病気の予防に関心を持っている



アミノ酸ってなに？

人のからだは約60%が水分で、約20%がタンパク質でできています。
タンパク質は、20種類の**アミノ酸**から作られています。

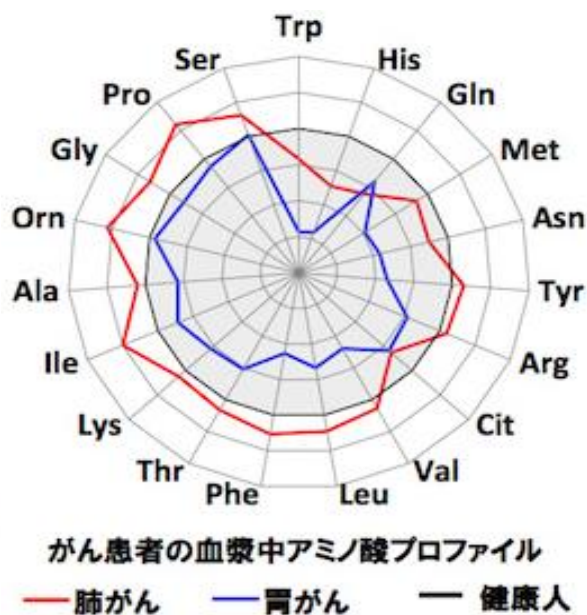


Copyright © 2012-2016 AJINOMOTO CO.,INC. All Rights Reserved.

病気とアミノ酸バランス

アミノ酸は血液中にも含まれており、健康な人の血液中のアミノ酸濃度は、それぞれ一定に保たれるようにコントロールされています。

しかし、さまざまな病気になると、一定に保たれている血液中のアミノ酸濃度のバランスが変化することが分かっています。



Y. Miyagi et al., PLOS One September 2011 vol.6 Issue 9 e24143.

血液中のアミノ酸濃度のバランスから、現在の健康状態や病気の可能性を明らかにする検査技術をアミノインデックス技術といいます。

このメカニズムに着目し、アミノインデックス技術を用いて開発された検査が**AICS**です。

※血液中のアミノ酸濃度は飲食物やがん以外の病気・体調により変動しますので、これらの影響がない状態で検査を受ける事が大切です。

AICS 検査について

リスク評価が可能ながんと検査料金

検査項目	解析対象となるがん種	料 金(税込)
男性 AICS[5種]	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん	25,000円
女性 AICS[6種]	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、 ※子宮がん・卵巣がん	25,000円

※子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。

いずれかのがんであるリスクについて評価することができますが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません。

検査の対象者

● AICSは、対象年齢の日本人を対象として開発された検査です。

対象年齢外のAICS値は参考値となります。(検査料金に変更はありません)

対象がん	対象年齢
胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25～90歳
前立腺がん	40～90歳
子宮がん、卵巣がん	20～80歳

● 以下に該当する方はAICS値に影響がありますので検査は受けられません。

がん患者(治療中を含む)の方 先天性代謝異常の方
透析をされている方 検査時に妊娠されている方 授乳中の方

AICS の結果に影響を与える可能性がわかっている疾患

現在下記表の疾患にかかっている方は、AICS値に影響を与える可能性があります。検査の対象外とするものではありません。下記の疾患による影響で、**がんではないのにAICS値が高くなりうる**ことをご理解いただいた上でお申込みください。

AICS	AICS値が高値となる可能性のある疾患
胃	萎縮性胃炎、胃潰瘍、キサントーマ、胃粘膜下腫瘍、胃ポリープ
肺	肺結核、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、肺非結核性抗酸菌症、肺気腫、無気肺、喘息
大腸	大腸ポリープ
前立腺	前立腺肥大、前立腺嚢胞、糖尿病
膵臓	慢性膵炎
子宮・卵巣	子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍
複数のAICSに影響がある疾患	脳梗塞

検査結果(AICS値とランク)について

AICS値は、それぞれのがんについて、現在がんである可能性を、0.0～10.0の数値で報告いたします。数値が高いほど、現在がんである可能性が高くなります。現在がんである可能性を判断する目安として、A、B、Cの3つのランクに分類しています。AICS₀では、ランクA→ランクB→ランクCの順番で現在がんである可能性が高くなります。



●各ランクでのがんである可能性【倍率】

低い ← がんである可能性 → 高い

ランク分類		罹患率*	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値			0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
項目	がん種				
AICS(胃)	胃がん	0.1036%	1/3,088【0.3倍】	1/603【1.6倍】	1/95【10.2倍】
AICS(肺)	肺がん	0.0887%	1/3,342【0.3倍】	1/604【1.9倍】	1/125【9.0倍】
AICS(大腸)	大腸がん	0.1325%	1/1,510【0.5倍】	1/596【1.3倍】	1/92【8.2倍】
AICS(膵臓)	膵臓がん	0.0273%	1/12,744【0.3倍】	1/2,893【1.3倍】	1/316【11.6倍】
AICS(前立腺)	前立腺がん	0.1179%	1/1,885【0.5倍】	1/398【2.1倍】	1/133【6.4倍】
AICS(乳腺)	乳がん	0.1264%	1/1,194【0.7倍】	1/440【1.8倍】	1/198【4.0倍】
AICS (子宮・卵巣)	子宮がん・ 卵巣がん	0.0858%	1/4,660【0.3倍】	1/794【1.5倍】	1/100【11.6倍】

各種がんの罹患率を基にした場合の、がんである可能性

出典:味の素株式会社共同研究プロジェクト 提供

上の表は、がん種ごとに、現在がんであるおよその確率をランク別に示したものです。

例えばAICS(胃)では、ランクAでは3,088人に1人が、ランクBでは603人に1人が、ランクCでは95人に1人が、胃がんであることを示しています。

【 】内は各種がんの罹患率を1とした場合の、がんである倍率を示しています。

※罹患率は、2012年の全国年齢階級別推定罹患率(出典:国立がん研究センターがん情報サービス:地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975年～2012年))に基づき、%表記に換算しています。



検査前の注意事項

AICSの検査値を正確に出して有効活用していただくために大切な内容です。

● 採血は午前中に行います。

※生体内リズムのため午後になると血液中のアミノ酸が減りますので、正確な評価ができなくなります。

● 血液中のアミノ酸バランスに影響を与える恐れがありますので、下記の内容をお守りください。

◆ 検査前日の食事について

- ・ 夕食は軽めに済ませていただき、22時以降は絶食です。
- ・ 夕食で肉、魚などの高タンパク質の食事はとりすぎないようにしてください。



◆ 検査前日の飲み物について

- ・ アミノ酸入りのサプリメント、スポーツドリンク飲料、アミノ酸製剤さらに、牛乳、ジュース、お茶、ガム・飴なども22時以降は控えてください。
- ・ お水は飲んでいただいてもかまいません。



◆ 検査前の激しい運動及び検査当日の朝の運動はお控えください。

◆ 喫煙も検査前日22時以降はお控えください。



◆ 常用薬について

薬剤のAICS値に及ぼす影響は分かっておりませんが、常用している薬剤がありましたら主治医にご相談の上、採血後に服用しても良いと主治医が判断された場合は採血後におとりください。

◆ ピル服用中の方は、休薬期間の後半時期に受診ください。

検査の受け方と検査後の流れ

検査日まで

個別説明の予約 : 直接窓口へもしくは電話でご予約下さい。

個別説明(来所) : 個別説明日に検査を受けていただくことは出来ません。

「検査申込書」の記入と検査日予約をさせていただきます。

検査日当日



検査結果の報告について

検査の結果が出るまで、約 3 週間かかります。
結果報告書は医師から説明の上、お渡しいたします。



がん予防のための生活習慣支援 ※無料・希望者のみ(要予約)

結果報告後、ご希望の方は以下のいずれかのコースでがん予防のための生活習慣支援をご利用いただけます。
(AまたはBコースのいずれか1回のみ)

Aコース	食事栄養指導(約40分) ・がん予防に役立つ食事について ・今の食事から出来る工夫
Bコース	運動指導(約60分) ・健康づくりのための身体活動量のご説明 ・自宅でできる筋力トレーニング、ストレッチング、ウォーキングレッスンなどの実技

※国立がん研究センターから示されている「科学的根拠に基づくがん予防法」の内容をもとに具体的な生活習慣をご提案します。

検査結果の見方

すべて、ランクA	今回の検査では、がんであるリスクは低いと考えられます。	通常のがん検診をお受けください。 健康保険 適応不可
いずれかが、ランクB	通常的生活をされている方より、がんであるリスクが約1.5倍程度高いこととなります。 (ランクBであった検査種別の臓器について)	
いずれかが、ランクC	がんであるリスクは高いと考えられます。 (ランクCであった検査種別の臓器について)	精密検査をお受けください。

通常のがん検診とは

※臨床アミノ酸研究会指導ガイドに準拠しています。

胃がん	胃部X線検査	子宮頸がん	細胞診
肺がん	胸部X線検査と喀痰細胞診併用法	乳がん	視触診+マンモグラフィ
大腸がん	便潜血検査(免疫法):1日法、2日法	前立腺がん	(※)PSA検査

※PSA検査:対策型がん検診ではないですが、一般的な検査のため「通常のがん検診」に加えられています。

精密検査の例<検査内容は受診先医療機関の判断になります>

胃	胃部X線検査、胃内視鏡検査	子宮・卵巣	細胞診、エコー検査
肺	胸部CT、喀痰細胞診	乳腺	マンモグラフィ、エコー検査
大腸	注腸造影検査、大腸内視鏡検査	前立腺	PSA検査、CT、MRI、エコー検査
膵臓	CT、MRI、エコー検査		

※当センターでは治療ができないため、精密検査を受けていただくことは出来ません。

ランクCの方にのみ紹介状をお渡しさせていただきますので、医療機関を受診し、精密検査についてご相談ください。

よくある質問

Q1: 「ランクA」であれば、がんではないのでしょうか? 「ランクC」であれば、がんなのでしょうか?

A1: この検査は、がんであるリスクを評価する検査で、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。

がんであるリスクが“0”の人はいませんので、「ランクA」でも、がんでないとは言い切れませんし、「ランクB」や「ランクC」であっても、必ずがんであるということではありません。

また、血液中のアミノ酸濃度は、さまざまな原因で変化しますので、がん以外の病気でもAICS値が高くなり、「ランクB」や「ランクC」になる場合があります。

Q2: AICSでランクCでも、がんが発見されないことはありますか?

A2: ランクCとなった場合には、がんであるリスクが高いと考えられますが、ランクCの人が必ずがんであるという訳ではありません。ランクCの人の約100人に1人ががんがある確率です。

Q3: AICSで偽陽性(がんの見逃し)はありますか?

A3: 一般的に偽陽性(見逃し)のない検査は存在しません。AICS検査も、がんであるリスクを評価するものであり、がんの有無を直接調べる検査ではありませんので、見逃しはあります。

異なる検査を受けることで見逃しを減らせることもありますので、AICSでランクA・Bであっても通常のがん検診の受診をお勧めします。

Q4: がん既往歴(がん治療後フォロー中の方も含む)がある場合でも、検査対象となりますか?

A4: がん既往歴(がん治療後フォロー中の方も含む)がある方でも、AICSが高値を示す事がある可能性をご理解いただいた上で、受診していただくことは可能です。

AICS



1回の採血で複数の検査対象臓器(男性5種、女性6種)の採血を行った時のがんリスクを調べることができます。

胃、肺、大腸、膵臓、前立腺(男性)、乳がん(女性)、子宮・卵巣(女性)
(検査対象臓器のがんリスクを探り、結果により必要な検査を受診)

検査結果 ⇒ **ランクA** **ランクB**

ランクC

通常のがん検診を
定期受診

ランクC対象臓器について
精密検査でがんの存在をチェック



がんの診断や治療の機器や技術は近年急速に進歩しています。

自覚症状のない少しでも小さい初期のうちに発見すれば、体にやさしく簡単で、治療費も少額な治療で治癒率を飛躍的に向上させることができ、完治することが可能です。(日常生活への早期復帰が可能)

だからこそ、がん検診を定期的に受けることが大切なのです。

AICS(がん検診)を受診した後で大切なこと

- ・検査結果により医師と相談の上、必要な検査を受ける
- ・定期的ながん検診を受ける
- ・健康づくり(健康的な生活習慣)によりがんを予防する

こちらの検査をご希望の方には、まず個別説明をさせていただいたうえで、「検査申込書」
をご記入いただいております。ご希望の方は、窓口までお問い合わせください。

【お申込み・お問い合わせ】

メディカルなら **奈良市総合医療検査センター**

〒630-8031 奈良市柏木町 519 番地の 5

電話 0742-33-7876

受付時間 月～金 午前 8:30～午後 5:00

土曜日 午前 8:30～正午

日曜・祝日は休み

